

2024年度 医療経営管理学科 学修成果の到達度の検証

学位授与の方針に掲げている(1)～(3)の領域に対する到達度を5段階ルーブリック評価で検証した。  
2024年4月～2025年2月までにマイステップに登録されたデータを集計(比較として過去のデータも提示)

学修成果の把握に用いたルーブリック評価基準

(1) 医療専門職としての使命を全うできる資質・能力

- 1.医療人として必要な知識・技能・技術の獲得・修得に取り組んでいない  
2.上記について取り組んでいるが、説明できるレベルではない  
3.医療人として必要な知識・技能・技術に限られた範囲で説明・実践できる  
4.医療人として必要な知識・技能・技術を実習等の実践活動で活かしている。  
5.上記のレベルを実務者が認め、各認定試験(国家試験)の合格水準に達している

(2) 職業人としての資質・能力

- 1.サービスを受ける側の視点しか持ち合わせていない  
2.サービス提供者に必要な知識・技能の獲得・修得に取り組んでいる  
3.サービス提供者として、指示どおりに、実体験活動に取り組んでいる  
4.実体験活動には、自分で考えたり、判断しながら取り組んでいる  
5.実体験活動を通して、他者の喜びから自らの喜びや価値を見出すことができる

(3) 生涯学習への意欲

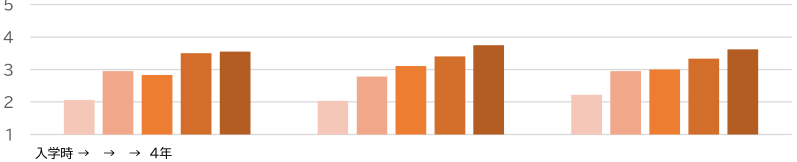
- 1.身近な社会の出来事に対して、関心はあるが、その関心の幅は狭い  
2.社会の出来事や多様性に関心があるが、自分の生き方と関連付けていない  
3.社会的課題や多様性に触れるような実体験活動に取り組んでいる  
4.上記を通して、社会において自分が果たすべき課題を見出すことができる  
5.上記を通して、自らを高めるための意欲と成長の道筋を示すことができる

1 入学時および各年次ごとの到達度平均値

	回答数(%)	(1)の平均	(2)の平均	(3)の平均
入学時	63(87.5)	2.06	2.04	2.22
1年終了時	43(59.7)	2.95	2.79	2.95
2年終了時	18(24.0)	2.83	3.11	3.00
3年終了時	12(16.7)	3.50	3.41	3.33
4年終了時	29(34.9)	3.55	3.75	3.62

評価時期: 入学時 1年終了時 2年終了時 3年終了時 4年終了時

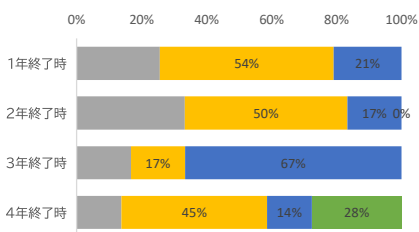
(1) 医療専門職としての使命を全うできる資質・能力 (2) 職業人としての資質・能力 (3) 生涯学習への意欲



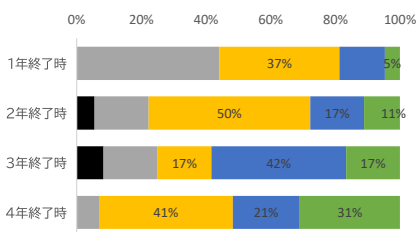
2. 各年次ごとの到達度分布

各観点の到達度: <低> 1 2 3 4 5 <高>

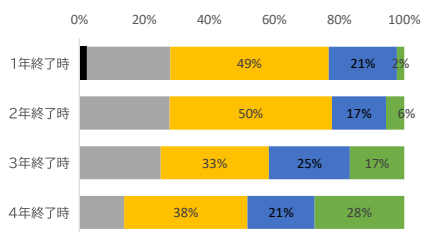
(1) 医療専門職としての使命を全うできる資質・能力



(2) 職業人としての資質・能力



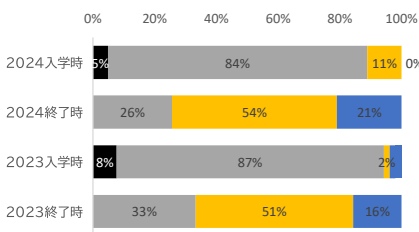
(3) 生涯学習への意欲



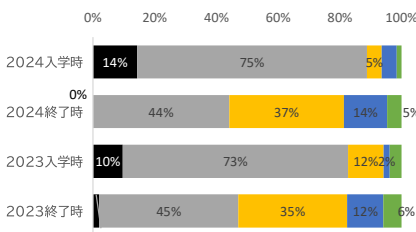
3. 1年生の成長感<前年度との比較>

各観点の到達度: <低> 1 2 3 4 5 <高>

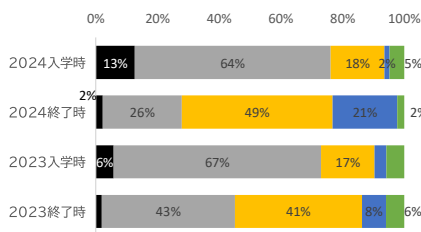
(1) 医療専門職としての使命を全うできる資質・能力



(2) 職業人としての資質・能力



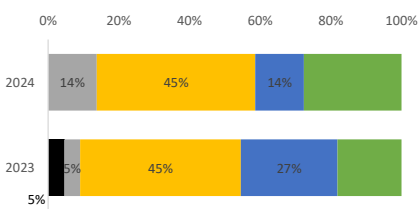
(3) 生涯学習への意欲



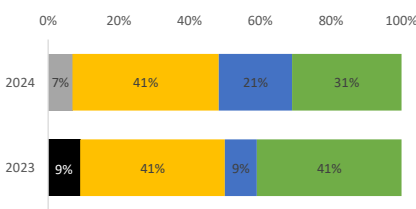
4. 4年生終了時の成長感<前年度との比較>

各観点の到達度: <低> 1 2 3 4 5 <高>

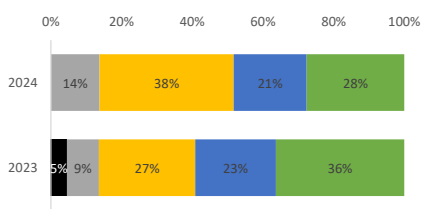
(1) 医療専門職としての使命を全うできる資質・能力



(2) 職業人としての資質・能力



(3) 生涯学習への意欲



5. 4年生の入学時(2021年入学時)と4年終了時の比較

6. 1年次の資格取得状況

項目	入学時(2021年)	4年終了時(2024年)
(1) 医療専門職としての使命を全うできる資質・能力	1.97	3.55
(2) 職業人としての資質・能力	1.98	3.75
(3) 生涯学習への意欲	2.20	3.60

資格・検定名称	取得者数	%
1 MOS(ワード)	37	86.0%
2 MOS(エクセル)	34	79.1%
3 防災士	26	60.5%

7. 分析結果と課題

- 学年が上がるごとに全般的に各観点の到達度が高まっていた  
○1年生については、前年度と比べて成長感を感じる学生の割合が増加していた。  
○4年生については、前年度と同程度の成長感が得られていた。  
○4年生では、全ての観点において入学時よりも到達度が向上していた  
▲2～4学年の回答率が低調であった。  
▲各学年において、成長実感が得られていない層の要因を把握し、対応を考える必要がある